

グリーンハウスおおつかの支援プログラム(5領域)

(ア)健康・生活

- (a)健康状態の維持・改善
- (b)生活のリズムや生活習慣の形成
- (c)基本的な生活スキルの獲得



- ・お子様達の小さな変化に気付けるようきめ細かな観察から健康状態の把握と異常の早期発見に努めています。
- ・お子様達のスペースを確保し、リラックスして過ごせるような環境を構造しています。
- ・医師の指示のもと医療的ケアへの対応をしています。
- ・経口摂取時には、口腔マッサージを実施し嚥下の状況を確認しながら、楽しい雰囲気でおいしく食べられるように個別に支援します。

(イ)運動・感覚

- (a)姿勢と運動・動作の向上
- (b)姿勢と運動・動作の補助的手段の活用
- (c)保有する感覚の総合的な活用



- ・お子様一人一人に合わせた関節可動域練習を取り入れ姿勢保持や上肢下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持を図ります。
- ・バランスボールを使用して姿勢のバリエーションを多くしたり、姿勢保持装置等、様々な補助的手段を活用して支援します。
- ・感覚や認知の特性を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援をします。

(ウ)認知・行動

- (a)認知の発達と行動の習得
- (b)空間、時間、数等の概念形成の習得
- (c)対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得



- ・日付や天気に関する認知の形成を朝の会にて支援します。
- ・物質の変化と感覚に関する認知の形成(粘土・スライム・水遊び)を支援します。
- ・心地よい音楽から聴覚を活用した発達を促します。
- ・季節の変化への興味などの感性形成のため散歩に出かけたり、季節感を視覚から取り入れられるような壁面構成を行ないます。

(エ)言語・コミュニケーション

- (a)言語の形成と活用
- (b)言語の受容及び表出
- (c)コミュニケーションの基礎的能力の向上
- (d)コミュニケーション手段の選択と活用
- (f)コミュニケーション機器の活用



- ・絵本や紙芝居の読み聞かせから聴覚や視覚を活用した発達を促します。
- ・朝の会での言葉や気持ちの表出を支援します。
- ・表情やしぐさ・ジェスチャーなどの非言語的コミュニケーションでの相互理解を図ります。

(オ)人間関係・社会性

- (a)他社との関り(人間関係)の形成
- (b)自己の理解と行動の調整
- (c)仲間づくりと集団への参加



- ・スキンシップからのアタッチメントの形成を支援します。
- ・個別の遊びから集団での活動へお子様にあった集団への参加を支援します。
- ・感覚遊びや運動遊びを通して他者との関りの形成を支援します。
- ・社会資源(公園や図書館等)を活用して戸外活動に参加できるように支援します。